

少規模の小学校を統合し、小中一貫教育を推進するのは問題

第2次甲賀市小中学校再編計画（基本計画） 素案に対するパブリック・コメント実施

7月15日の厚生文教常任委員会に、甲賀市がめざす「学校教育の実現に向けて」第2次甲賀市小中学校再編計画（基本計画）素案が報告されました。本計画は、学校再編を継続して推進していく基本計画であり、保護者・地域の方々の意見が反映されなくてはなりません。基本計画の策定に向けて、信楽の5つの小学校及び甲南第3小学校の保護者を対象に開催した意見交換会の結果ならびに市議会厚生文教常任委員会が保護者、地域住民を対象に開催された意見交換会の結果を踏まえ、「素案」ができました。この素案をもとに、市民に広く意見を募集する「パブリック・コメント」が行われます。（期間は8月1日から31日）。

素案では「特認校」の問題について、信楽での意見交換会等の意見をもとに、「特認校制度への対応」の項を設け、「特認校制度を導入している学校が再編となった場合、特認校制度



6月29日信楽開発センターで厚生文教常任委員会主催の「信楽の皆さんとの意見交換会」が開催され、信楽地域の5つの小学校を1つに再編するなどの「第2次甲賀市小中学校再編計画（たたき台）」について、保護者や地域の役員の区役員の皆さんから、賛成・反対の多くの意見をお聞きました。

は廃止となりますが、これまで行ってきた取り組みの評価を行い、各学校で展開されてきた少人数の良さを生かした特色ある教育活動や多様な学びへの対応は、再編後の学校及び関係する教育機関において包摂する取り組みを進めていきます」と追加で記述されました。山岡光広議員は、厚生文教常任委員会で「特認校の取り組みを評価し、（統合した学校で）補説的な取り組みを進める」とあるが、「特認校の何が良いか、どういう良さをどのように生かすのか、包摂的だけでは不明確。小規模の学校を残すという選択は検討されなかったのか」「小中一貫教育についても三行書いているだけで、不明瞭。また、統合に伴う通学方法は、保護者責任ではなく、義務教育における通学保障は設置者の責任であることを明確にすべき」などと指摘しました。

甲賀市教育委員会が示した学校再編の方向性

■水口中学校区 ■城山中学校区
小学校、中学校ともに現状の学校運営を維持しつつ、小中一貫教育の推進に向けた取り組みを進める。

■土山中学校区
土山中学校と2つの小学校において、既存の中学校校舎を活用した小中一貫校の設置による学校再編をめざす。

■甲賀中学校区
甲賀中学校と3つの小学校において、既存の中学校校舎を活用した小中一貫校の設置による学校再編をめざす。

■甲南中学校区
・甲南中学校は、現状を維持。小中一貫教育の推進に向けた取り組みを進める。
・甲南第一小、希望ヶ丘小は、現状を維持し、小中一貫教育の推進に向けた取り組みを進める。

・甲南第三小は、甲南中部小の再編を進める。甲南中部小は、長寿命化計画に基づく校舎整備を進める。

・甲南第二小は、中間見直しにおいて、児童数の推移や甲南中部小の整備を見据え、段階的な再編協議を進める。

■信楽中学校区

・信楽中学校は、現状を維持しつつ、再編した小学校との小中一貫教育を実施する。信楽小学校の改築工事の完了時期に合わせ、5つの小学校をひとつに再編し、小中一貫教育の環境を整える。また、学校再編のモデル校として位置づけ、特色ある教育プログラムを展開する。

当初計画から面積・事業費が大幅にアップ。「道の駅あいの土山」8月1日リニューアルオープン

8月1日国道一号線沿いの「道の駅あいの土山」がリニューアルオープンします。2022年3月の「再整備基本計画」では、1110㎡概算事業費7億円が提案されていました。限研デザインが採用されたこと等もあり、全天候型の屋外空間など2200㎡約18億円と面積・事業費が大幅に増加、今年の春オープン予定が大きくずれ込むことに。

日本共産党甲賀市議員団は、予算審議等で事業費の多くを国庫補助金や起債を活用するといえ、ここまです事業費をかける必要があるのか等を指摘してきました。

甲賀市内唯一の道の駅だけに、市民の皆さんの要望が実現できるよう運営の強化を求めています。



日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2025年 7月 27日 第547号



山岡 光広

甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美

土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実

水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044

甲賀市議団のホームページ <http://city-koka.jcp-web.net/>